



<来週の資金需給予想とイベント予定>

(単位：億円)

| 日付       | 資金需給予想  |          |          | 主な要因              | オペ期日                            | オペスタート        | イベント                                                                    |
|----------|---------|----------|----------|-------------------|---------------------------------|---------------|-------------------------------------------------------------------------|
|          | 銀行券要因   | 財政等要因    | 資金過不足    |                   |                                 |               |                                                                         |
| 7/21 (月) |         |          |          | 海の日               |                                 |               | 米：景気先行指標総合指数（6月）                                                        |
| 7/22 (火) | ▲ 300   | + 12,600 | + 12,300 | 国庫短期証券発行償還（3M・1Y） | 国債補完供給<br>CP等買入 + 1,200<br>▲100 | 国債買入 + 11,200 | 米：パウエルFRB議長、会議冒頭のあいさつ                                                   |
| 7/23 (水) | トン      | ▲ 3,000  | ▲ 3,000  |                   | 共通担保 ▲ 8,000                    |               | 日：内田副総裁が高知県金融経済懇談会で講演<br>：基調的なインフレ率を捕捉するための指標                           |
| 7/24 (木) | ▲ 1,000 | ▲ 4,000  | ▲ 5,000  | 国債発行（40年）         |                                 |               | 米：新規失業保険申請件数（7月19日終了週）<br>欧：ECB政策金利発表、ラガルド総裁記者会見<br>製造業・サービス業・総合PMI（7月） |
| 7/25 (金) | トン      | + 21,000 | + 21,000 |                   |                                 |               | 日：東京CPI（7月）<br>：景気一致指数・景気先行CI指数（5月）                                     |

<インターバンク>

日銀当座預金残高は週初、前営業日対比6,800億円減少の518兆3,800億円から始まった。その後、国債発行や気候変動対応オペ等により増減し、18日は521兆6,500億円（速報）で越えた。

無担保コールON物加重平均金利は週初、0.479%から始まり、その後も横ばい圏で推移した。

ターム物は1W～2W物0.477%～0.610%のレンジ、1M～3M物0.535%～0.700%のレンジで出合が見られた。

来週の予定は、国内では、23日に内田副総裁が高知県金融経済懇談会で講演、25日に東京CPI（7月）の公表などが行われる。海外では21日に米景気先行指標総合指数（6月）、24日に米新規失業保険申請件数（7月19日終了週）の公表などが予定されている。

[無担保コールレート]

|     | 予想レンジ（%）      |
|-----|---------------|
| O/N | 0.450 ～ 0.478 |
| 1M  | 0.53 ～ 0.65   |
| 2M  | 0.54 ～ 0.70   |
| 3M  | 0.58 ～ 0.70   |
| 6M  | 0.65 ～ 0.85   |

<レポ>

足許GCは週央まで+0.485%～+0.495%のレンジで取引された。短国の償還が重なる17日には+0.48%台を中心に出会いが見られたが、後場には+0.49%台まで上昇し、週末まで同水準で推移した。

SC取引は2年470～474回債、5年155～178回債、10年355～371、378～379回債、20年110～130回債などに引合いが見られた。

[オープン市場]

|               | 予想レンジ（%）    |
|---------------|-------------|
| 現先<br>(on/1w) | 0.40%台      |
| CP 3M         | 0.55 ～ 0.65 |

<CP>

今週の入札発行総額は約1兆2,300億円で、週間償還額の1兆6,700億円を下回った。発行残高は先週末時点の25兆1,934億円から、7月17日時点で25兆5,129億円に増加した。発行市場は、電気業、卸売業、ガス業、不動産業で大型の発行案件が見られた。入札案件の発行レートは、先週に引き続き、a-1格相当の1か月物では政策金利に近い0.50%台前半での出会い、3か月物では0.50%台後半から0.60%近辺での出会いが見られた。

来週の償還額は1兆200億円となっている。発行市場は、営業日数が少ないものの、大型償還に合わせた安定的な調達ニーズにより、償還額と同程度の発行が見込まれる。発行レートについては、今週に引き続き、1か月物では0.50%台前半での出会い、3か月物に関しては0.50%台後半から0.60%近辺と、横ばい圏での出会いを予想する。

<TDB>

17日の1Y（1319回債）の入札は、最高落札利回り0.6306%（前回債0.5781%）、平均落札利回り0.6164%（前回債0.5671%）となった。

18日の3M（1320回債）の入札は、最高落札利回り0.4079%（前回債0.4150%）、平均落札利回り0.4006%（前回債0.4054%）となった。

来週の入札は25日に3Mが予定されている。